

令和6年度行政評価 施策評価シート (令和5年度実績)  
 施策名 青少年の健全育成

施策コード 5020305

1. 施策の担当	
主管課	教育部 青少年課
関係課	学校教育課

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第2章 ひとを豊かに育むまちづくり (子育て・教育)	節 第3節 生涯学習・スポーツ
	施策	青少年の健全育成	

**基本方針**

- 市内の青少年健全育成団体の自主的活動を支援するとともに、地域と連携し、多様な青少年活動のリーダーとなる人材の育成に努めます。
- 野外体験及び自然活動体験による青少年の健全育成に向けた取り組みを支援します。

**現況と課題**

- 市内の様々な青少年健全育成団体では、活発な自主的活動に加えて、地域を越えた交流事業を実施してきましたが、今後、少子化が進行していく中で、青少年を指導する人材の育成や、地域社会が一体となって青少年を支える環境づくりへの支援が求められています。
- 野外活動の参加促進に向けた取り組みが求められています。

**施策目標**

対象 (誰を、何を、どこを)  
 青少年及び青少年と関わりのあるすべての市民

**意図 (どのような状態にしたいのか)**

- 家庭では、親が子どもとコミュニケーションを図りながら学び合い、地域においては、大人が意識して子どもたちと関わるような状態をめざし、青少年が健やかに育つ環境づくりを進めます。
- 「地域の子どもは地域で育てる」環境を作ります。
- 市内の青少年健全育成団体の自主的活動の充実をめざします。

3. 市民ニーズ							
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
満足度 (偏差値)	39.6						
重要度 (偏差値)	36.4						

4. 施策にかかるコスト								
コストの内訳	人件費	千円	R4決算	R5決算				
	事業費		48,075	47,013				
	フルコスト		30,704	42,341				
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0				
	府支出金		938	853				
	市債		0	0				
	その他		128	29,601				
	一般財源1 (=フルコスト-特定財源)		77,713	58,900				
	一般財源2 (=直接事業費-特定財源)		29,638	11,887				

5. 施策の重要業績成果指標 (KPI)							
① KPI 1 青少年健全育成関係団体の事業等参加者数							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	1,857.0	1,878.0	1,900.0	1,925.0	1,950.0	1,975.0	2,000.0
実績値	1,276.0	1,299.0	1,299.0				
達成度	68.71	69.17	68.37				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
泉佐野市子ども会育成連合会や青少年問題協議会等の青少年団体の参加人数により、青少年の活動状況を把握します。(R4:、青問協23名、単位子ども会登録名簿者数1,276名の計1,299名)		H29 5年間で年間利用者が7%程度の増加を目標値として設定した。 R5 1,900人 R10 2,000人		前年度と同様に推移していると考えます。			

② KPI 2		わくわくふれあいハイキング参加者数					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0
実績値	224.0	224.0	251.0				
達成度	74.67	74.67	83.67				

KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
青少年指導員が実施しているイベントであり、青少年指導員の活動状況を把握できます。		少子化の進む中で、現状の数値の維持を目標値とした。		令和2年度はコロナ感染防止のため中止したが、令和3・4年度は再開し令和元年度とほぼ同じレベルに持ち直した。			

③ KPI 3							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値							
実績値							
達成度							

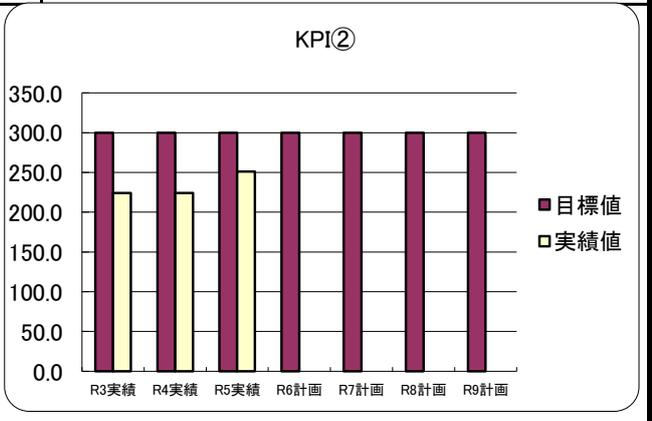
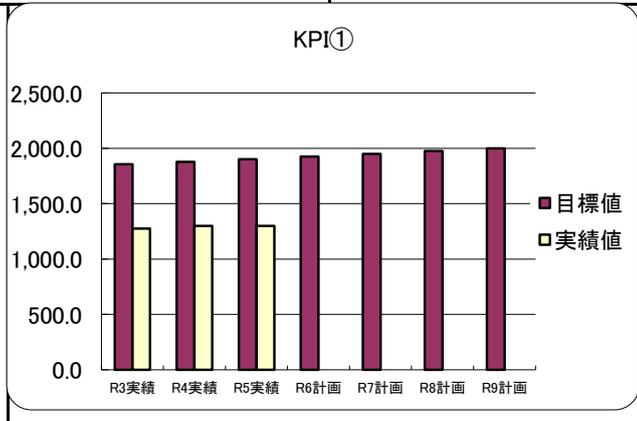
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			

④ KPI 4							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値							
実績値							
達成度							

KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			

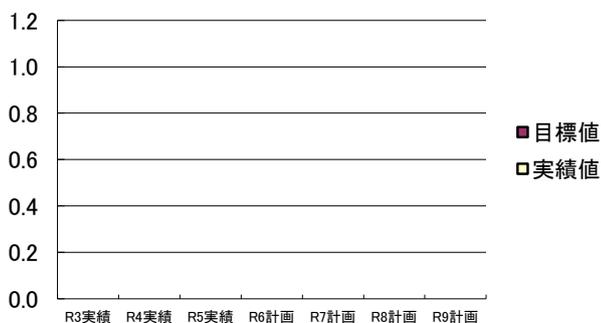
⑤ KPI 5							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値							
実績値							
達成度							

KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			

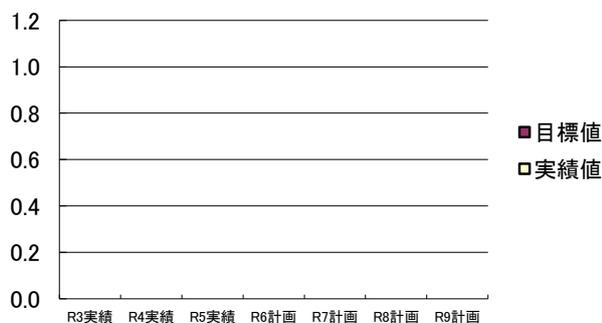


図表

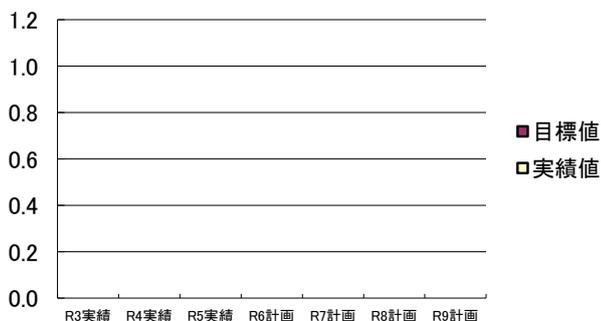
KPI③



KPI④



KPI⑤



6. 施策の事後評価

	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 1	青少年健全育成については依然として大きな役割を担っている。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 1	青少年の健全育成施策は社会的に依然として要望の強い施策である。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 1	青少年健全育成施策は、社会的に大変重要な施策であり必要不可欠であるとともに、昨今の青少年を取り巻く状況を考えると今後重点事業である。
	合計点	(10点中) 3点	
	総合評価	D	人的・経費的に厳しい中、創意工夫により初期の目標値を目指し、一定の効果が見いだされたと考える。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)		D	前回市民アンケートから重要度-12.8満足度-8.2と大きく低下している。青少年を取り巻く状況が大きく変化する中で、既存の活動を見直し、青少年の参画を促す新たなコミュニティーや地域活動の創造を図りたい。
三次評価 (理事者による評価) ※二次評価と異なる場合など記載		D	青少年健全育成関係団体の事業への参加についてSNSを活用するなど、引き続き目標値に達するよう努めること。

7. 施策を構成する事務事業

	予算コード	事務事業名	R5年度決算額			R6年度予算	一次評価
			人件費	事業費	一般財源		
1	01058800	青少年健全育成事業	18,885	32,739	5,154	0	B
2	01062000	成人式事業	15,933	2,534	618	0	B
3	01062100	青少年指導員事業	4,529	5,431	5,431	0	B
4	01062200	ジュニアリーダー育成事業	5,613	537	437	0	B
5	01080770	おおさか元気広場推進事業	2,053	1,100	247	0	B
合計			47,013	42,341	11,887	0	

令和6年度行政評価 事務事業評価シート(令和5年度実績)

事務事業コード	020203070	予算コード	01058800	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	青少年健全育成事業	正規職員数	1.5	国庫支出金	0	有効性	B	青少年の健全育成のため、啓発・講習会は必要である。各団体については、年々弱体化の傾向があり、市は事務局として積極的な関与が必要である。	
担当課	青少年課	嘱託職員数	1.8	府支出金	0	効率性	C		
根拠法令等	市単独事業 ■法律・政令・省令 社会教育法 地方青少年問題協議会法 子ども・若者育成支援推進法	臨時職員数	0	市債	0	妥当性	A		
		歳出(千円)		その他	27,585	受益者負担	該当なし		
		人件費総額	18,885	一般財源	24,039				
				減価償却費	0				
事業費		事業費	32,739						
事務事業類型	運営事業	フルコスト(千円)		51,624	緊急性	C	事務事業実施内容		
実施手法	一部委託	市民1人当たりコスト(円)		521			指導者講習会、青少年問題講演会等の実施。 泉佐野市こども会育成連合会、泉佐野市青年団協議会の事務局運営		
対象	不特定の市民	活動指標	R5実績		公的関与	B			
		青少年健全育成に関する講習会		1.0					
		青少年会館開館日数		0.0	実施主体・委託化	B			
事業の内容	青少年健全育成事業として青少年問題協議会及び講演会等を開催している。社会教育団体である泉佐野市こども会育成連合会、泉佐野市青年団協議会の事務局をしている。	青少年会館利用可能日数			他の事務事業との関連	A			
		泉佐野市こども会育成連合会加入団体数		33.0					
		成果指標	R5実績		透明性	B			
		健全育成に関する講習会参加人数		36.0	財政健全化計画	該当なし			
		青少年会館開館利用者数			財政健全化の取組	B			
		青少年広場利用者数							
		泉佐野市こども会育成連合会加入者数		1,090.0					
事業の目的	青少年自らが逞しい自立の力、やさしい心豊かな創造性を身につけるための環境整備及び青少年を指導する立場にある指導者の育成を行うことで青少年の健全育成を図る。	コスト指標	R5実績		改革改善プラン達成度	該当なし			
		講習会参加者1人当たりの事業費							
		青少年会館利用者1人当たりの事業費							
		青少年広場利用者1人当たりの事業費(円)							
		泉佐野市こども会育成連合会加入者一人当たりの事業費		1,400.0					

事務事業コード	020203040	予算コード	01062000	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	成人式事業	正規職員数	1.5	国庫支出金	0	有効性	A	平成24年度から成人式として式典色を強め実施。公共的見地からの新成人への祝いの祭典の性格をもった部分の事業は規模を縮小し、式典の性格を強調して実施	
担当課	青少年課	嘱託職員数	1	府支出金	0	効率性	B		
根拠法令等	市単独事業	臨時職員数	0	市債	0	妥当性	A		
		歳出(千円)		その他	1,916	受益者負担	該当なし		
		人件費総額	15,933	一般財源	16,551				
				減価償却費	0				
事業費		事業費	2,534						
事務事業類型	運営事業	フルコスト(千円)		18,467	緊急性	D	事務事業実施内容		
実施手法	市民・NPOとの協議	市民1人当たりコスト(円)		186			成人式の開催718名参加(対象者1088名) 「市長と語る成年のつどい」の開催 11名参加		
対象	特定の市民	活動指標	R5実績		公的関与	B			
	20歳になる市民	成人式参加対象者数(人)		1,088.0	実施主体・委託化	B			
		市長と語る成年のつどい参加対象者数(人)		11.0					
事業の内容	成人式事業として以下の事業を実施している。 ①成人式の開催 ②大人としての自覚を高め、地域社会への参画を促すため、「市長と語る成年のつどい」の開催	他の事務事業との関連	該当なし						
		成果指標	R5実績		透明性	A			
		成人式参加者(人)		718.0	財政健全化計画	該当なし			
		市長と語る成年のつどい参加者(人)		11.0	財政健全化の取組	B			
		コスト指標	R5実績		改革改善プラン達成度	該当なし			
事業の目的	成人の自覚を高め地域社会及び市政への積極的な参加を促し「市長と語る青年のつどい」を開催。市報で広報。「成人式」は成人になったことを自覚し、自らの目標に向けて邁進する青少年達を祝い励ますために開催。全国的に年中行事的な意味合いが強い。	成人式参加対象者1人当たりの事業費(円)							
		新成人の集い参加者1人当たりの事業費(円)							

令和6年度行政評価 事務事業評価シート(令和5年度実績)

事務事業コード	020203080	予算コード	01062100	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B		
事務事業名	青少年指導員事業	正規職員数	0.55	国庫支出金	0	有効性	B	青少年を取り巻く状況は大きく変化し問題が多発するなか、青少年指導員のボランティア精神の下、青少年の非行防止、健全育成の啓発、環境浄化等を実施し、その問題の解決と校区全体での教育コミュニティづくりを進める必要がある。			
担当課	学校教育課	嘱託職員数	0	府支出金	0	効率性	B				
根拠法令等	市単独事業	臨時職員数	0.03	市債	0	妥当性	A				
		歳出(千円)		その他	0	受益者負担	該当なし				
		人件費総額	4,529	一般財源	9,960						
				減価償却費	0						
		事業費	5,431								
事務事業類型	運営事業	フルコスト(千円)		9,960	緊急性	C	事務事業実施内容				
実施手法	一部委託	市民1人当たりコスト(円)		101	公的関与	A	①環境浄化活動(屋外広告物撤去等) ②非行防止活動(街頭啓発、巡回補導) ③ワクワクふれあいハイキング事業				
対象	活動指標	R5実績			実施主体・委託化	B					
不特定の市民	対象数	590	環境浄化活動		3.0	他の事務事業との関連	A				
青少年指導員活動参加者			非行防止活動		3.0	透明性	A				
事業の内容			わくわくふれあいハイキング		1.0	財政健全化計画	該当なし				
事業の内容 青少年指導員による地域における活動並びに市主催事業への協力を通し青少年の非行防止、健全育成の啓発などを推進する。 ①環境浄化活動(屋外広告物撤去等) ②非行防止活動(街頭啓発、巡回補導) ③ワクワクふれあいハイキング事業 泉佐野市PTA連絡協議会補助金事業	成果指標	R5実績				財政健全化の取組	該当なし				
	環境浄化活動延べ参加者		278.0								
	非行防止活動延べ参加者		61.0								
	わくわくふれあいハイキング参加者		251.0								
	コスト指標	R5実績					改革改善プラン達成度	該当なし			
事業の目的			青指活動参加者1人当たりの事業費		16,881.4						
青少年を取巻く環境が大きく変化し問題が多発するなか、青少年指導員がボランティア精神の下、青少年の非行防止、健全育成の啓発、環境浄化等を実施することで、その問題を解決し、校区全体での教育コミュニティづくりをすすめていく。											

事務事業コード	020203010	予算コード	01062200	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B		
事務事業名	ジュニアリーダー育成事業	正規職員数	0.1	国庫支出金	0	有効性	B	ジュニアリーダー養成講習会・主催事業への参加者はやや減少傾向にあるが、ジュニアリーダーの存在と活動は健全な青少年活動の手本として、子どもたちへ大きな影響がある。地域のリーダーとなる人材の育成をはじめ、地域の青少年活動の維持・活性化に対する事業効果は大きく、重要性を増している。今後も事業は継続予定である。			
担当課	青少年課	嘱託職員数	1.3	府支出金	0	効率性	B				
根拠法令等	市単独事業	臨時職員数	0	市債	0	妥当性	B				
		歳出(千円)		その他	100	受益者負担	A				
		人件費総額	5,613	一般財源	6,050						
				減価償却費	0						
		事業費	537								
事務事業類型	運営事業	フルコスト(千円)		6,150	緊急性	C	事務事業実施内容				
実施手法	市直営	市民1人当たりコスト(円)		62	公的関与	A	ジュニアリーダー養成講習会、子ども会活動支援、ジュニアリーダー自主活動(研修会等)				
対象	活動指標	R5実績			実施主体・委託化	B					
その他	対象数	15名	ジュニアリーダー養成講習会開催日数(日)		5.0	他の事務事業との関連	該当なし				
中学1年生以上を対象			ジュニアリーダー主催事業開催日数(日)		13.0	透明性	A				
事業の内容						財政健全化計画	該当なし				
事業の内容 ジュニアリーダーは、青少年のよき理解者、よき指導者、将来のよき社会人を育成することを目的に昭和38年よりはじめられ、その養成、向上のために以下の事業を行っている。 ①養成講習会を通じた青少年の人材育成(中学1・2年生の希望者を募り、リーダーとしての養成講座を行う。) ②ジュニアリーダー協議会の組織の活性化と資質の向上を図る	成果指標	R5実績				財政健全化の取組	該当なし				
	JR養成講習会延べ参加者数(人)		22.0								
	JR主催研修会延べ参加者数(人)		44.0								
	コスト指標	R5実績					改革改善プラン達成度	該当なし			
	講習会研修会受講者1人当たりの事業費(円)										
事業の目的											
ジュニアリーダー養成講習会及び主催事業を通じて資質の向上を図る。子ども会活動支援等のボランティア活動を通じて青少年のよき理解者、よき指導者さらには将来のよき社会人となるような人材育成を目的とする。											

令和6年度行政評価 事務事業評価シート(令和5年度実績)

事務事業コード	020203090	予算コード	01080770	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	おおさか元気広場推進事業			正規職員数 0.25	国庫支出金 0	有効性	B	放課後児童クラブ(留守家庭児童会)との一体的な運営が求められており、元気広場と学童との共同プログラムの実施が必要である。	
担当課	学校教育課			嘱託職員数 0	府支出金 853	効率性	B		
根拠法令等	法定受託以外の法令			臨時職員数 0.01	市債 0	妥当性	A		
	■法律・政令・省令 ■要綱・要領			歳出(千円)	その他 0	受益者負担	B		
	児童福祉法、児童福祉法施行令、少子化社会対策基本法、社会福祉法			人件費総額 2,053	一般財源 2,300				
	社会教育法 「おおさか元気広場推進事業」市町村対象実施要綱				減価償却費 0				
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円)	3,153	緊急性	B	事務事業実施内容	
実施手法	全部委託			市民1人当たりコスト(円)	32	公的関与	B	放課後や週末等に小学校の施設等を利用して、子どもの安全・安心な活動場所を確保し、継続的な活動を展開する。 地域の多様な大人が活動に参画し、子どもの主体的な体験・学習活動を支援する。 子どもどうし、子どもとおとな、おとなどうしの交流活動を活性化させる。 ふれあい広場、スポーツ教室、パソコン教室等の開催	
対象	不特定の市民			活動指標	R5実績	実施主体・委託化	B		
	地域の全ての小学生			教室開催数	348.0	他の事務事業との関連	A		
事業の内容	放課後や週末等に小学校の施設等を利用して、子どもの安全・安心な活動場所を確保し、継続的な活動を展開する。 地域の多様な大人が活動に参画し、子どもの主体的な体験・学習活動を支援する。 子どもどうし、子どもとおとな、おとなどうしの交流活動を活性化させる。			成果指標	R5実績	透明性	C		
				参加人数	8,052.0	財政健全化計画	該当なし		
						財政健全化の取組	該当なし		
						コスト指標	R5実績	改革改善プラン達成度	該当なし
事業の目的	放課後や週末等に安全で安心な子どもの活動場所を確保するとともに、異なる年齢の子どもたちによる集団活動や交流活動の活性化をはかることにより、地域社会全体で子どもの豊かな成長を育む教育コミュニティづくりを推進し、地域の教育力の再生を図る。			参加1人あたりの経費	391.6				